

学校法人千葉経済学園

平成 1 9 年度事業報告書

1 法人の概要

【設置する学校・学部・学科等】	1
【役員の概要】	1
【学校・学部等の入学定員、学生数】	2
【教職員の概要】	2

2 事業の概要

【当該年度の事業の概要】	3
--------------------	---

3 財務の概要

【消費収支計算書の推移】	7
【貸借対照表の推移】	7
【財務比率表】	8

1 法人の概要

【設置する学校・学部・学科等】

- 千葉経済大学
 - ・経済学部
 - ・経済学研究科（修士）
- 千葉経済大学短期大学部
 - ・ビジネスライフ学科
 - ・こども学科
- 千葉経済大学附属高等学校 全日制課程
 - ・普通科
 - ・商業科
 - ・情報処理科
 - ・建築科
- 千葉経済大学なでしこ幼稚園

【役員の概要】

○理事・監事

※平成20年3月31日現在

氏名	種別	形態	兼職名
佐久間 勝彦	理事	常勤	短大学長、高校校長
小滝 敏之	理事	常勤	大学学長
鈴木 信雄	理事	常勤	大学学部長
佐久間 達郎	理事	常勤	法人事務局長
永井 幸喜	理事	非常勤	ケーヨー相談役
勝又 基夫	理事	非常勤	千葉トヨペット代表取締役社長
綿貫 弘一	理事	非常勤	京葉銀行取締役頭取
川瀬 茂	理事	非常勤	(元三越監査役)
佐川 八重子	理事	非常勤	桜ゴルフ代表取締役
磐城 博司	理事	非常勤	明治安田生命保険顧問
小澤 慶和	理事	非常勤	千葉県産業振興センター理事長
池澤 秀夫	監事	非常勤	千葉興業銀行取締役頭取
横山 秀明	監事	非常勤	ソフィアスタッフ会長

○評議員

早川恒雄議長（千葉銀行相談役）、安田敬一議長代理（安田教育振興会理事長）以下
27名

【学校・学部等の入学定員、学生数】

※平成19年5月1日現在 (単位：名)

学校・学部学科別	入学定員	収容定員	現員
千葉経済大学	260	1,020	1,111
・経済学研究科	10	20	14
・経済学部	250	1,000	1,097
千葉経済大学短期大学部	350	700	781
・ビジネスライフ学科	150	300	354
・こども学科	200	400	427
千葉経済大学附属高等学校	600	2,010	1,414
・普通科	360	990	910
・商業科	120	660	239
・情報処理科	80	240	214
・建築科	40	120	51
千葉経済大学なでしこ幼稚園	60	200	18
学園総合計	1,270	3,930	3,324

【教職員の概要】

※平成19年5月1日現在 (単位：名)

学校・学部学科別	専任教員	専任職員	合計
千葉経済大学	36	22	58
千葉経済大学短期大学部	32	13	45
千葉経済大学附属高等学校	87	19	106
千葉経済大学なでしこ幼稚園	4		4
学園総合計	159	54	213

2 事業の概要

建学の精神「片手に論語、片手に算盤」及び校是・校訓に基づき、教育の質の確保、向上を図り、良識と創意に満ちた感性豊かな人材育成実現に向け、それぞれ教育研究を行った。平成19年度に実施した事業の主な内容は次のとおりである。

「千葉経済学園」

故佐久間彊名誉理事長の逝去に伴い、平成19年9月22日、千葉経済大学附属高等学校体育館において学園葬を執り行った。(中曽根康弘元内閣総理大臣はじめ、各界より約1,000名が参列)

「千葉経済大学」

1 教職課程の新設

高校生の志願の状況、社会のニーズに対応して、平成19年度より経済学部経済学科に教職課程(高校公民)を開設した。

2 特任教授の新設

政治・行政・経済の実践的経験と学識を有する特任教授を2名任命し、特別講義を開講した。

3 キャリアアップ特別講座の新設

学生の就職支援のため、公務員試験講座を含めたキャリアアップ特別講座を新規に開講した。

4 公開講座、公開講演会の実施

前年に引き続き、地域社会への貢献及びニーズに応え、公開講座、公開講演会を次のとおり実施した。

- | | |
|----------|---------------------|
| (1) 公開講座 | 実施日：平成19年10月の土曜日に4回 |
| | 講師：本学教員 |
| | テーマ：「変わる企業像と経営改革」 |
| | 参加者：延べ164名 |
| | 会場：本学2-202教室 |

- (2) 公開講演会 実施日：平成 19 年 12 月 9 日（日）
講 師：高山憲之 一橋大学経済研究所教授
テーマ：「日本の老後はどうなるか？一年金改革のシナリオ」
参加者：101 名
会 場：千葉市文化交流プラザ
- 5 教育環境、施設・設備等の整備
教育環境を整え、学習・教育効果を高めるため、次のとおり施設・設備の整備を行った。
- (1) 女子パウダーサロンの新設
女子学生のニーズに応えるため、1 号館 2 階の既設男女トイレを改修し、女子専用のパウダー・サロンを新設した。
- (2) 情報教育環境の整備
学生の情報活用能力をより高めるために、教育内容や教育方法に対応した PC 関連教室を整備することとし、平成 20 年度から使用を開始するため、既存 PC 関連 4 教室(209・305・306・501)の一体的リニューアルを行った。
- (3) 視聴覚機器・システムの更新
2 号館 2 階 2-201、2-202 教室の視聴覚機器・システム一式を更新し、教育効果の向上を図った。
- (4) 教室施設の整備
各教室等の点検を行い、廊下・壁面の塗装、床の張替、教室の机・椅子取替等、施設整備を行った。

「千葉経済大学短期大学部」

- 1 こども学科の改組
平成 19 年度より、初等教育コースの募集定員を 50 名減員する一方、保育コースの募集定員を 50 名増員した。
- 2 開放講座の実施
鎌ヶ谷市教育委員会との共催で、開放講座「オープンカレッジかまがや」を次のとおり実施した。

実施日：平成 19 年 8 月から 10 月の土曜日に 8 回

講 師：本学及び千葉経済大学教員

テーマ：「好奇心いっぱい！学んで感動を！」

参加者：延べ 6 7 9 名

会 場：鎌ヶ谷市中央公民館

3 文部科学省「学生支援 G P」に採択

ビジネスライフ学科が平成 17 年度から新たに開始した「キャリアデザインをコアとする修学支援策—自分の夢の実現をめざして—」が、新たな社会的ニーズに対応して、真摯に取り組まれている《優れたプログラム》を支援する事業として、文部科学省が平成 19 年度から開始した「学生支援 G P」（全国 272 の大学、短大からの申請のうち 70 件が採択）に採択された。

4 教育環境、施設・設備の整備

教育環境を整え、学習・教育効果を高めるため、次のとおり施設・設備の整備を行った。

(1) 調理実習室の設置

こども学科定員増加に対応し、調理実習科目の充実を図るため、1 号館 3 階小講義室（300、306）を改修し、調理実習室を新設した。

(2) 女子パウダーサロンの新設

1 号館 2 階の既設男女トイレを改修し、女子専用のパウダーサロンを新設した。

(3) 情報機器等の整備

パソコン教室（C21 教室）に新機種 4 2 台のパソコンを導入した。

(4) 教室施設の整備

各教室等の点検を行い、小講堂カーテン取替、廊下・壁面の塗装、床の張替、防音壁の改修等、施設整備を行った。

「千葉経済大学附属高等学校」

1 入学定員の変更

中学生の普通科志向が強まる中、数年来商業科の定員充足率が大幅に低下している状況を踏まえ、普通科を中核とする学校への転換を図るため、平成 19 年度より、商業科の入学定員を 1 学年 120 人に減員し、普通科の入学定員を 1 学年 360 人に増員した。

2 教育環境、施設・設備の整備

(1) 情報教育環境の整備

個人情報保護も含めたセキュリティーの強化を図るため、生徒情報システムのバージョンアップを実施した。

(2) 図書館設備の整備

図書館環境の一新による生徒のさらなる学習意欲の向上を意図し、キャレルデスク（ブース型、照明付）を導入した。

「千葉経済大学なでしこ幼稚園」

平成 18 年度から段階的に園児募集停止を行うなど、平成 19 年度末の閉園に向け準備を進めてきたが、平成 20 年 3 月 17 日に最後の修了証書授与式を行い、同月 31 日をもって予定どおり閉園した。昭和 46 年 4 月の開園以来 37 年間での修了者数は 6,844 名となった。

3 財務の概要

【消費収支計算書の推移】

(単位:千円)

科目	17年度	18年度	19年度
	金額	金額	金額
消費収入の部			
学生生徒等納付金	2,845,775	2,695,516	2,686,000
手数料	70,332	68,486	62,898
寄付金	60,128	86,608	44,058
補助金	812,209	736,515	739,577
資産運用収入	26,836	37,776	39,929
資産売却差額	2,153	222	1,297
事業収入	28,212	27,347	29,023
雑収入	140,534	95,008	117,818
帰属収入	3,986,180	3,747,478	3,720,598
基本金組入額	△ 4,804	△ 125,172	△ 172,133
消費収入の部合計	3,981,376	3,622,306	3,548,465
消費支出の部			
人件費支出	2,678,371	2,452,535	2,529,389
教育研究経費支出	903,478	1,065,029	1,006,360
管理経費	239,541	185,088	176,002
借入金等利息	32,661	36,339	35,033
資産処分差額	117,589	5,714	
消費支出の部合計	3,971,639	3,744,706	3,746,784
当年度消費収入超過額	9,737	△ 122,400	△ 198,320
当年度消費支出超過額			
前年度繰越消費支出超過額	1,304,067	1,294,330	1,414,870
基本金取崩額		1,861	
翌年度繰越消費支出超過額	1,294,330	1,414,870	1,613,189

【貸借対照表の推移】

(単位:千円)

科目	17年度	18年度	19年度
	金額	金額	金額
資産の部			
固定資産	15,526,676	15,563,767	16,091,401
有形固定資産	15,022,913	14,884,585	14,704,741
その他の固定資産	503,764	679,182	1,386,660
流動資産	2,824,650	2,726,831	1,964,224
資産の部合計	18,351,326	18,290,597	18,055,625
負債の部			
固定負債	2,016,618	1,837,934	1,738,445
流動負債	992,375	1,107,558	998,262
負債の部合計	3,008,993	2,945,492	2,736,706
基本金の部			
第1号基本金	16,315,663	16,438,975	16,611,108
第2号基本金			
第4号基本金	321,000	321,000	321,000
基本金の部合計	16,636,663	16,759,975	16,932,108
消費収支差額の部			
消費収支差額の部合計	△ 1,294,330	△ 1,414,870	△ 1,613,189
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	18,351,326	18,290,597	18,055,625

【財 務 比 率 表】

消費収支計算書

(単位:%)

		平成17年度	平成18年度	平成19年度
人件費比率	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	67.2	65.4	68.0
人件費依存率	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	94.1	91.0	94.2
教育研究 経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{帰 属 収 入}}$	22.7	28.4	27.0
管理経費比率	$\frac{\text{管 理 経 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	6.0	4.9	4.7
借入金等 利息比率	$\frac{\text{借入金等利息}}{\text{帰 属 収 入}}$	0.8	1.0	0.9

貸借対照表

(単位:%)

		平成17年度	平成18年度	平成19年度
固定資産 構成比率	$\frac{\text{固 定 資 産}}{\text{総 資 産}}$	84.6	85.1	89.1
流動資産 構成比率	$\frac{\text{流 動 資 産}}{\text{総 資 産}}$	15.4	14.9	10.9
固定負債 構成比率	$\frac{\text{固 定 負 債}}{\text{総 資 金}}$	11.0	10.0	9.6
流動負債 構成比率	$\frac{\text{流 動 負 債}}{\text{総 資 金}}$	5.4	6.1	5.5
自己資金 構成比率	$\frac{\text{自 己 資 金}}{\text{総 資 金}}$	83.6	83.9	84.8
消費収支差額 構成比率	$\frac{\text{消費収支差額}}{\text{総 資 金}}$	△ 7.1	△ 7.7	△ 8.9

総資金＝負債・基本金・消費収支差額合計

自己資金＝基本金+消費収支差額